



なかうみ  
中海大橋

設置場所	松江市大井町
設置年度	昭和58年度～平成1年度
設置事業名	大井地区農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業
施設工事費	2,160百万円
寸法規格(構造)等	橋長:555m 全幅員:11.8m(車道幅員6m,歩道幅員2.25m両側) 橋格:1等橋 三径間T型ラーメン箱桁橋(ディビダーク)295m 四径間連続PC箱桁橋180m 二径間連続PC箱桁橋80m 散水融雪施設1式

施設機能(目的)

本地区は松江市の東部に位置し、松江市東北部・八束郡八束町の1600haを受益とした農道である。この橋の完成により、従来は大橋川を大きく迂回していた水稻・津田かぶ・西条柿などの農産物は、速やかに運搬されるようになり、時間短縮と経費節減が図られ、中海沿岸の地域開発とともに松江市を中心とする産業振興に大きく寄与している。

施工逸話

架橋位置の大橋川は、松江港の港湾区域に指定され、500t級の船舶が航行するため、港湾法に基づき、船舶のマスト高さから桁下高、航路幅の協議及び港則法に従い、航路標識等を海上保安部等と協議した。その結果、勾配が7%で勾配区間も長い橋となり、中海を背景にした空間をダイナミックに画定している。

また、橋梁設置に伴い、従来、矢田の渡しを利用していた高校生も、これを利用して通学できるようになった。



融雪施設散水状況



鋼管矢板を打設



ワーゲン4基による掘出し施工



井筒内の強制



ケーブル(PC鋼材)の配置



下部工事の完了した4号橋脚



桁を運搬させるための支保工